NIE実践報告

1．タイトル：情報を主体的に収集・選択し、活用できる子の育成

2．学校名

岐阜県笠松町立笠松小学校

3．実践者名（代表者名）

高田　敏実

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　54人

6．単元（本時の学習課題）名

「環境について考えよう」

7．目標（狙い）

環境問題に関する記事を見つけ、スクラップする活動を通して自分の考えを確かにしたり、自分なりの新聞に再構成したりすることができる。

8．評価の視点

環境について自分の考えを持ち、自分なりの新聞に再構成できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「環境について考えよう」30時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)環境問題について関心を持ち、調べる。
(2)環境について興味を持ったことについて話し合う。
(3)新聞作りの方法を知り、活動の課題を持ち、計画を立てる。
(4)計画に沿って、新聞記事を見つけたり、切り抜いたりして資料を集める。
(5)親子新聞の活動を通して、自分の意見を確かにする。
(6)調べたことや体験したことを新聞にまとめ、発表会を行う。
(留意点)
・新聞だけでなく、実際の体験活動や、外部講師の方との関わりを持ちながら進めていく。
・新聞の見出しや文の書き方を参考にする。
・親子で新聞を読む「親子新聞」の活動を取り入れ、家庭を巻き込んだ活動へ発展させる。
・「新聞切り抜き作品コンクール」の応募作品を参考にし、興味関心を高める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

環境問題は、特に記事として取り上げられることも多く、関心も高いので、記事を見つける活動に意欲的に取り組めた。親子で新聞を読む活動は、内容が分かりやすいという感想が多くあった。

12．成果と課題

○写真や見出しなどを手がかりにして、自分で必要な記事を探し、選び出す力が育ってきた。
○「親子新聞」の取り組みでは、保護者の協力を得て、新聞記事の内容を正しく理解することができた。また、その活動が親子のふれあいを深めることにもつながった。
△NIEの活動が特別なものでなく、普段から新聞に触れあえるような工夫が必要である。
△取り組みの学級や学年だけでなく、新聞を活用する学習が全学年に広がるような手だてを考えたい。